

# りんどう

## 経営方針

- 1 利用者の尊厳を尊重し、一人ひとりの人権を擁護すると共に生活が健康で豊かなものになるように、良質かつ適切なサービスを提供するように努めセーフティネットの役割を果たします。
- 2 関係機関や他事業所と連携し、地域のニーズに合った福祉サービスを提供し地域福祉の向上に努めます。
- 3 職員の能力開発や専門性を高めるため、積極的な職員研修の実施と外部研修に参加するとともに、自己研鑽を呼びかけ向上発展する人材育成に努めます。
- 4 コンプライアンスの推進を図り、更に信頼される組織作りを推進します。  
また、安定的に福祉サービスを提供できるよう、経営意識の醸成を図り、経営の安定に取り組めます。

## ■ りんどう

[障害者支援施設（施設入所支援、生活介護、短期入所）、日中一時支援事業]

## 取り巻く環境

りんどうでは、利用者の高齢化とともに機能低下が進んでおり、日常生活動作に係る介助、健康管理、医療に係る支援、安全への配慮などの支援がますます必要となっています。

また、利用者の障がいやニーズが多様化しており、さらなる支援力の向上が求められています。そのために内外研修へ参加するほか、医療機関・介護福祉施設の協力を得ながら効率的かつ安全な療養・介護スキルを取得し、施設としての介護や生活支援機能を充実させていく必要があります。

さらに、利用者が楽しみや意欲をもって施設生活を送れるよう日中活動の充実や地域との関わりを継続する必要があります。

新型コロナウイルスを含めた感染症について、引き続き感染予防に努める必要があります。

## 事業の重点項目

### 1 人権尊重と虐待防止の意識の徹底

人権尊重と虐待防止に向けて、引き続き職員の意識を高めていく必要があることから、施設内研修を実施するとともに、外部研修に職員を派遣し職員の意識の徹底を図っていきます。

また、人権侵害自己チェック、コンプライアンス自己チェック及びケアレベル自己チェックの実施、安全確保を含めた虐待防止委員会に於いて、利用者個々に応じた適切な支援を検討していきます。

## 2 安心・安全なサービスの提供

利用者の高齢化と機能低下に伴う怪我等のリスクへの対応が必要なため、リスクマネジメントの強化による利用者の健康状態把握や環境改善などに努めます。また、各種研修会への参加や先進施設見学等により、職員の知識と技術の向上を図ります。

さらに、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症予防について、職員の意識の向上に努め、予防対策を強化します。

## 3 地域住民と利用者の交流促進

利用者地域住民との触れ合う機会が少ないことから、施設の有する専門性を活かし、地域行事や福祉アート等の作品展への参加など、利用者が施設外の方々と触れ合う機会を提供し、利用者の社会参加と障がい者理解の促進に取り組みます。

また、極めて公共性の高い組織であるという自覚のもと、多様化・複雑化する地域の福祉ニーズに応えるため、地域の関係機関等と連携して短期入所等のサービスを積極的に推進します。

## 4 働きがいのある職場づくり

業務が多様化してきている中で、職員間によるコミュニケーションの推進を図るため、業務の効率化を図り、職員の意思疎通を深めるため、業務の見直しを行うとともに、介護機器の導入による職員の介護や精神的な不安の軽減を図ります。

また、「報連相」など日常的にコミュニケーションを図り、意欲を持って働ける職場の雰囲気づくりに努めます。

## 5 労務管理の徹底

ワーク・ライフ・バランス等に配慮していくために、勤務調整希望表を活用し職員の計画的な有給休暇取得等に取り組むとともに、資格取得に向けた環境調整に努めます。

## 6 経営の安定

欠員が生じており、相談支援事業所や関係機関等と連携して円滑な利用者の受け入れを行うことにより、利用定員の充足を図り、また、利用率の向上を図ります。

## 7 経営の安定

職員による経営意識の共有が不足しているため、職員会議や研修会で収支状況や各種制度、報酬の算定要件等に関する職員の理解と共有に努め、経営意識の向上を図ります。